

性教育講話を実施しました

10月5日（木）に産婦人科医の眞鍋修身先生をお招きし、全校生徒対象の性教育講話を行っていただきました。

「正しい知識を持って自分の身体は自分で守ろう～生命の大切さ～」

講話では、「命の大切さ」「女性の身体と妊娠の仕組み・望まない妊娠・避妊」「性感染症」等についてお話を聞くことができました。



【生徒の感想より】

- 高校生の体は妊娠、出産など大事な時のために、準備をしている段階なので、自分の体を大切にしたいです。困ったときには相談しようと思いました。
- 生理について詳しいことはあまり知らなかったなので、この機会に知ることができてよかったです。将来は生理についての知識をもち女性をサポートしていきたいです。
- 性感染症が見つげにくいことに驚きました。また、性感染症は気づかないうちに周りの人にうつすこともわかったので、自分や相手のことも考え、気を付けていこうと思いました。
- 妊娠 20 週になると、お腹の赤ちゃんはお母さんが自分の子に語りかける声が聞こえると知って、もし私が妊娠したら自分の子にたくさん話しかけて、赤ちゃんが産まれてくる幸せな気持ちを大切にしたいと思いました。
- ひとつの命を育てるということは、お金、育てる力、生活力などが必要であり、簡単ではないと思いました。今の楽しさだけで行動せず、自分や相手の人生をしっかりと考えて、「産み時、育て時」を判断していきたいと思います。